

図書館・郷土資料館だより

図書館 図・申 ☎(61)3002
 休館日 12/1・5・12・19・26・29～1/4
 郷土資料館 図・申 ☎(61)4700
 休館日 12/1・5・12・19・26・29～1/4

図書館情報

冬休みはどっぷり読書！
 すいせん図書リストをどうぞ

冬休みに向けて、心温まるすいせん図書リストを学年別に用意しました。ちらしは、図書館で配布しています。また、ホームページから印刷ができます。ぜひご覧ください。

☆小学3・4年生向き



体育がある

村中 李衣/作
 文研出版

あこは、体育が嫌いな小学4年生。転校先の新しい小学校は、友達が優しかった前の学校とは違う雰囲気。あこは体育の時間が怖くなってしまい、とび箱もさかあがりも緊張してうまくできない。ママは、一生懸命になって、あこにやり方を教えてくれるけれど…。

「読書通帳」をご利用ください

読書通帳は自分が読んだ本の名前や感想などを書き込み、貯めていくものです。この通帳にたくさんの方の知識や感動を貯めて、自分の宝物にしてください。

▼対象 幼児～大人まで（町立図書館の利用券を持っている人）

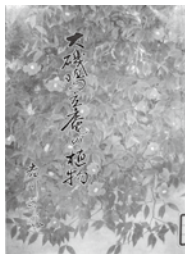


▼配布場所 図書館本館、分館窓口
 ▼利用方法 図書館や学校で借りた本、自分で買った本などを読み終わったら通帳に記入して、50冊貯まったら通帳を窓口を持ってきてください。認定のスタンプを押します。

大磯町に関する本を紹介
 「大磯ふるさと往還」

町のことをもっと知りたい方におすすめの特集です。ホームページで、「郷土資料」をクリック、さらに興味のあるテーマへ進んでください。「大磯町の概略」「国府祭」「大磯ゆかりの文学者」など様々なテーマで、蔵書を紹介いたします。テーマは、随時更新します。

#いそちゃん
 おすすめの一冊



大磯町立庵の植物

吉川 翠風/著
 丸井図書出版

町立庵に自生、植栽されている約100種の植物について、形状の特徴や名称の由来、自生地域やエピソードなど幅広く解説しています。また、その植物にまつわる句を紹介し、植物の様子や美しさを俳句の表現でも味わうことができます。

郷土資料館情報

秋季企画展「島崎藤村と大磯を愛した文人たち」

秋季企画展は12月11日（日）までです。ご来館をお待ちしています。
 ▼ところ 郷土資料館企画展示室
 ▼観覧料 無料

＜島崎藤村と左義長＞



▲菊池重三郎

菊池重三郎は、島崎藤村を大磯に招いた一人です。作家、翻訳家として活躍し、昭和10年（1935年）に大磯に移住しました。

菊池重三郎と藤村は、藤村が菊池の著作に序文を寄せたことから親交が始まり、大磯の左義長に関心を持った藤村を、菊池は昭和16年（1941年）に大磯に招き、天明愛吉と一緒に左義長を案内しました。この大磯訪問をきっかけに藤村は大磯に借家を持ちました。



▲藤村も見た左義長

天明愛吉は、藤村に勧められて俳優になった人物で、藤村の『若菜集』に感銘を受け、藤村に弟子入りを申し出るも断られ、俳優の道を勧められました。その後、紆余曲折あって大磯に住んでいた天明は、藤村と交流のある菊池を知り、天明が菊池を訪ねたことによって、再び藤村との交流が生まれました。



▲菊池(左)と天明愛吉

藤村は、大磯の住まいで『夜明け前』のその後を描く『東方の門』の執筆を進めました。昭和18年（1943年）に亡くなったことにより、未完となった『東方の門』の構想ノートには、大磯の左義長のことも書かれています。『東方の門』が完成していたら、左義長はどのように登場していたのでしょうか。想像がふくらみます。

※左義長以外の写真は、菊池なつみ氏にご提供いただいた写真です。

＜濱谷浩写真展＞

「大磯を愛した文化人」

町立図書館展示コーナーにて、12月11日（日）まで開催しています。あわせてご観覧ください。
 ※休館日は図書館に同じ。